

御中

雑誌掲載論文内報

下記のとおり掲載論文目次をあらかじめ内報いたします。御覧の上、貴社製品の関係ある論文がございましたら、広告掲載にご利用くださるようお薦め申し上げます。

(株)医学書院 販売・PR部 TEL 03-3817-5696

誌名 理学療法ジャーナル（月刊）

巻号 第58巻 第9号 2024年9月号
発行 B5判 11000部 オフセット
広告締切 2024年07月16日
発行予定 2024年08月26日

※広告料金の詳細につきましては、お申し込み先の広告代理店にお問い合わせください。

| 区分 | 論文題名 | 執筆者名 | 所属 |
|----------|---|------|--|
| 特集 | 特集／最適な非対称性動作を考える | | |
| | 力学的視点からみた非対称性の意義 | 水谷康弘 | 大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 |
| | 解剖学的視点から見た非対称性の意義 | 白鳥秀卓 | 京都産業大学総合生命科学部 動物生命医科学科 |
| | 非対称性からみた歩行動作の神経制御の役割 | 河島則天 | 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所運動機能系障害研究部神経筋機能障害研究室 |
| | 非対称性からみた健常者の歩行動作の特徴 | 平田恵介 | 東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科 |
| | 非対称性からみた健常者の立ち上がり動作の特徴 | 鈴木 誠 | 東北文化学園大学医療福祉学部理学療法学専攻 |
| | 最適な非対称性歩行動作の獲得をめざした理学療法（運動器疾患） | 南角 学 | 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部 |
| | 最適な非対称性歩行動作の獲得をめざした理学療法（中枢神経疾患） | 荻原啓文 | 長野保健医療大学保健科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 |
| | 最適な非対称性立ち上がり動作の獲得をめざした理学療法（運動器疾患） | 井原拓哉 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科運動器機能形態学講座 |
| | 最適な非対称性立ち上がり動作の獲得をめざした理学療法（中枢神経疾患） | 谷内幸喜 | 城西国際大学福祉総合学部理学療法学科 |
| Close-up | 宇宙医学から学ぶ | | |
| | 宇宙医学から学ぶ運動器・循環器系への影響と予防方法 | 山田 深 | 杏林大学医学部リハビリテーション医学教室 |
| 連載 | 旅行や建設業などの業務で宇宙に進出するうえで考えられる課題とその対応についての宇宙医学の責務と展望 | 門馬 博 | 杏林大学リハビリテーション学科 理学療法学専攻 |
| | 運動療法に活かす神経生理（学）③ 下肢の運動により痙縮を有する脳性麻痺者の神経生理学的抑制が生じるか？ | 安部千秋 | 十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科 |
| | 理学療法士のための「money」講座⑨ 生命保険は必要か一掛け捨てはもったいない？ | 細川智也 | ソニー生命保険株式会社 ライフプランナー／理学療法士 |

| | | |
|--|--------------|---|
| ちょっと気になる理学療法周辺ワード⑨ 超音波（エラストグラフィ） 「どれくらい運動させていいかわからない」をどう克服するか⑥（中枢神経系疾患）脳卒中（回復期）に対する筋力増強運動 | 中村雅俊 大田瑞穂 | 西九州大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科 |
|--|--------------|---|

| |
|------|
| 特記事項 |
| |

※冊子制作の都合上、発行予定日、掲載内容、および執筆者を予告なく変更する場合がございますことをご了承ください。確定内容につきましては、弊社編集室へ直接お問い合わせください。